

「朝鮮」から戦後日本を問う

近年立て続けに著書・編著を日本で刊行された韓国・聖公会大学日本学科教授権赫泰さんをお招きして、権さんの近業をめぐって意見交換する機会を設けました。意見交換の前提となる著作は、権赫泰『平和なき「平和主義」：戦後日本の思想と運動』（法政大学出版局、2016年）と、権赫泰他編『〈戦後〉の誕生：戦後日本と「朝鮮」の境界』（新泉社、2017年）です。権さんの研究プロジェクトの成果と展望を共有しながら対話を深める機会にできればと思います。あわせて、雑誌『朝鮮人』（1967～1991年、朝鮮人社、全27号）に関する短い報告を準備することで、権さんのご研究に別のコンテンツに即して応答することができればとも考えています。みなさんのご参加をお待ちしています。

セッション1

権赫泰さんの近業をめぐって

書評報告：富永悠介（文学研究科助教）ほか

リプライ：権赫泰（韓国・聖公会大学日本学科教授）

セッション2

関連報告：

雑誌『朝鮮人』をめぐって

報告：宇野田尚哉（文学研究科教授）

2017年

6月5日(月) 14:00～17:00

大阪大学豊中キャンパス

待兼山会館会議室



<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka/toyonaka.html>

最寄駅：阪急宝塚線石橋駅 / 大阪モノレール柴原駅

来聴歓迎（事前予約不要）

連絡先：グローバル日本研究クラスター・宇野田尚哉（unoda@let.osaka-u.ac.jp）



主催：大阪大学大学院文学研究科グローバル日本研究クラスター